

日本語学会第 156 回大会 プログラム

会 長 田窪 行則
大会運営委員長 内海 敦子
大会実行委員長 西村 義樹

期 日: 2018 年 6 月 23 日 (土)・24 日 (日)
会 場: 東京大学本郷キャンパス (〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1)
Tel/Fax: 03-5841-3807 / 03-5803-3019
E-mail: gengo@L.u-tokyo.ac.jp

※駐車場はありませんので、自動車でのご来場はご遠慮下さい。
※キャンパス内は禁煙です。

.....

— 第 1 日 (6 月 23 日) —

10:00-12:30	評議員会 (評議員の方はご出席下さい。詳細は別便の案内をご参照下さい。)	法文 2 号館 教員談話室
12:00-	受付	法文 1 号館 入口ホール
13:00-17:40	口頭発表 (詳細は 2-3 頁にあります。)	法文 1 号館・法文 2 号館
18:00-20:00	懇親会	生協第 2 食堂

— 第 2 日 (6 月 24 日) —

9:30-	受付	法文 1 号館 入口ホール
10:00-11:00	ポスター発表	法文 1 号館 1 階 115
11:10-11:50	開催校挨拶, 会長挨拶, 会員総会	法文 2 号館 2 階 1 大
13:00-14:00	会長就任講演	伊藤謝恩ホール
14:10-17:00	<p>日本語学会 80 周年記念シンポジウム (公開) 「日本のヴォイス研究の 80 年: 成果と展望」</p> <p>オーガナイザー: 西村 義樹 (東京大学) コメンテーター: 長屋 尚典 (東京外国語大学)</p> <p>講師と発表タイトル: 「文法関係とヴォイス: オーストロネシア諸語の状況」 柴谷方良 (ライス大学)</p> <p>「中国語のヴォイス~サセル、ナラセル、ナラサレル~」 木村英樹 (東京大学/追手門学院大学)</p> <p>「ヴォイスの拡張 ~言語および言語学における~」 鷲尾龍一 (学習院大学)</p>	伊藤謝恩ホール

公開シンポジウムはどなたでもご参加いただけます。

■口頭発表 (6月23日(土) 13:00-17:40)

	A会場 (法文2号館1大) 司会：[1-2] 沈 力, [3-4] 金 善美, [5-7] 三宅 知宏	B会場 (法文2号館2大) 司会：[1-2] 青木 博史, [3-4] 木部 暢子, [5-7] 中村 渉
13:00-13:30	[A-1] 陳 奕廷 中国語の原因型結果構文に対するフレーム・コンストラクショナルアプローチ	[B-1] 平田 裕 上代日本語の属格「つ」と数詞についての仮説
13:40-14:10	[A-2] 阿久澤 弘陽, 王 丹丹 日中コントロール現象における意味の役割	[B-2] 菊池 そのみ 古典日本語における「ての」について
14:20-14:50	[A-3] 小玉 安恵 従属節事態先行型カラ節内のル形の生起条件と否定的ニュアンスのメカニズムについて	[B-3] 坂井 美日 九州方言における主語標示の使い分けと動作主性
15:00-15:30	[A-4] 氏家 啓吾 「こんな紳士をつかまえて何をいうか！」—動詞「つかまえる」の文法化の観察—	[B-4] 林 由華 係り結び現象を生む述語の機能—通方言的な視点から
15:30-15:50	(休憩)	(休憩)
15:50-16:20	[A-5] 石塚 政行 日本語移動表現の直示情報と主体性：話し手自身の移動と第三者の移動の対照	[B-5] 團迫 雅彦 日本語を母語とする幼児の右方転位文における主語の格標示について
16:30-17:00	[A-6] 新山 聖也 名詞性を持つ複雑述語・文末形式における自動詞構造の分析	[B-6] 石川 めぐみ, 伊藤 たかね, 郷路 拓也 日本語児における他動詞受身文の理解 —名詞句削除受身文と完全受身文を対象に—
17:10-17:40	[A-7] 日高 俊夫 複雑述語における命題と推意 — 開始を表す表現について	[B-7] 小林 ゆきの, 磯部 美和, 桃生 朋子, 岡部 玲子, 川原 繁人 幼児はポケモン名付けに音象徴を用いるか

	C会場 (法文1号館113) 司会：[1-2] 新田 哲夫, [3-4] 上田 功, [5-7] 田中 伸一	D会場 (法文1号館212) 司会：[1-2] 藏藤 健雄, [3-4] 岸本 秀樹, [5-7] 尾谷 昌則
13:00-13:30	[C-1] 小林 祐貴, 神谷 祥之介, 竹安 大 閉音節における母音持続時間の短縮：鹿児島方言若年層の場合	[D-1] Satoshi TOMIOKA Contrast, Quantifier Scope and Embedded Implicature
13:40-14:10	[C-2] 加藤 幹治, 井手口 将仁 福岡県八女市黒木方言における子音語幹動詞のテ形派生音韻規則：韻脚を形成しない母音の削除	[D-2] Akitaka YAMADA A Modal Approach to no-clauses in Japanese
14:20-14:50	[C-3] 韓 喜善 日本語の撥音の音声に関する調査—撥音に母音が後続する場合—	[D-3] Hitomi HIRAYAMA Wa-questions in Japanese
15:00-15:30	[C-4] 木村 公彦 米ペンシルベニア州における後舌低母音/a, ɔ/の合流：空白の半世紀の歴史再建を試みる	[D-4] 森 創摩 pとqが一般規則によって形成されている条件構文についての考察
15:30-15:50	(休憩)	(休憩)
15:50-16:20	[C-5] Jeremy PERKINS, Seunghun J. LEE, Shigeto KAWAHARA, Tomoko MONOU Consonants and tones: A view from two Tibeto-Burman languages	[D-5] 大島 デイヴィッド 義和, 秋田 喜美, 佐野 真一郎 日本語における状態述語の意味的な住み分け—程度性とスケール構造の観点から—
16:30-17:00	[C-6] Seunghun LEE, Seth TSHITHUKHE, Michinori SUZUKI An acoustic study of dental vs. alveolar contrast in Tshivenda nasals	[D-6] 鈴木 あすみ 日本語における慣用句の創造的使用について —形容詞の反義語を手がかりに—
17:10-17:40	[C-7] 中川 裕 声調交替のパラダイグマティックな説明：グイ語における2つの豊語パラダイムの相互作用音韻史	[D-7] 鈴木 基伸 「やすい」文における状態性と動作性

	E 会場 (法文 1 号館 214) 司会：[1-2] 小野 創, [3-4] 越智 正男, [5-7] 長谷川 信子	F 会場 (法文 1 号館 215) 司会：[1-2] 内堀 朝子, [3-4] 酒井 弘, [5-7] 松本 曜
13:00-13:30	[E-1] 平田 一郎 副詞応答文 Really?について	[F-1] 高嶋 由布子, 黒田 栄光, シャーマン・ウィルコックス 日本手話の「いう」の拡張：証拠性と習慣性・一般性への経路
13:40-14:10	[E-2] 内芝 慎也 省略現象から見た日本語動名詞句の構造	[F-2] 小藺江 聡, 原田 なをみ, 高山 智恵子 日本手話のロールシフトと談話表示理論
14:20-14:50	[E-3] MUYI YANG Possessor raising in Mandarin unaccusatives	[F-3] 直江 大河, 木山 幸子, 時本 真吾, 馬 瓊, 汪 敏, 小泉 政利 誤った単語アクセントの再解釈の仕組み：脳波の時間周波数解析・事象関連電位による検討
15:00-15:30	[E-4] Kaori MIURA An adjunction approach to the PSP construction in Japanese	[F-4] 伊東 香奈江, 哈 芸婕, 小泉 政利, 木山 幸子 日本語母語話者のあいまいな関係節における解釈修正の可能性：自己ペース読み課題による日英語間の比較
15:30-15:50	(休憩)	(休憩)
15:50-16:20	[E-5] 三山 美緒子 日本語の部分構造が持つ統語構造について	[F-5] 呉 佩珣, 宮本 エジソン正 「V1 て V2」が表すイベントによる再構造化の有無
16:30-17:00	[E-6] 片岡 恋惟 日本語の間接受動文と使役文における補文主語とラベル付け	[F-6] 平沢 慎也 Take hatred and turn it into love: 「余剰 take 構文」の記述的研究
17:10-17:40	[E-7] 林 慎将 ラベルにおける Head の強弱の除去	[F-7] 町田 章 制御不能感と日本語被害受身一周辺事例から見えるもの

	G 会場 (法文 1 号館 314) 司会：[1-2] 下地 理則, [3-4] 田村 幸誠, [5-7] 品川 大輔	H 会場 (法文 1 号館 315) 司会：[1-2] 山越 康裕, [3-4] 堀 博文, [5-7] 林 範彦
13:00-13:30	[G-1] 三樹 陽介 八丈語三根方言の人称・指示代名詞の複数と階層性	[H-1] 鈴木 唯 トルコ語における過去接尾辞-DI の「未来」解釈用法 — その出現用法とモダリティ性 —
13:40-14:10	[G-2] 喜多 直人 アイヌ語沙流方言における親族名詞の限定所有と呼格的用法 — フレーム意味論による分析 —	[H-2] 江畑 冬生 トゥバ語の証拠性を表すとされる接辞-dir の機能：話し手・聞き手の認識からの説明
14:20-14:50	[G-3] 山部 順治 オリア語で、人称制約が見られる構文環境と、そうでない構文環境	[H-3] 野島 本泰 ブヌン語南部方言のつなぎ形態素 -na-
15:00-15:30	[G-4] 浅岡 健志朗 一時的な全体部分関係：チェコ語の所有動詞 mít の場合	[H-4] 木本 幸憲 ジェスチャーが言語によって指標されるとき：アルタ語の位置保持詞 (placeholder) の用法と相互行為上の役割
15:30-15:50	(休憩)	(休憩)
15:50-16:20	[G-5] 熊切 拓 アラビア語チュニス方言の「SV」語順と主題化	[H-5] 倉部 慶太 ジンボー語における語頭鼻音の成節性
16:30-17:00	[G-6] 河内 一博 クプサビニ語の Associated Motion を表す構文：類型的観点からの分析	[H-6] 黄 海萍 チワン語龍茗方言の声調体系とその通時的考察
17:10-17:40	[G-7] 牧野 友香 ランバ語(M54)の Anterior と属性叙述	[H-7] 山崎 雅人 ベトナム語の視覚動詞の試行相文法化の展開

■ポスター発表（6月24日(日) 10:00-11:00)

法文1号館 115	[P-1] 大山 祐亮 古ロシア語現在分詞の単数主格語尾成立における異分析
	[P-2] 王 軒, 木山 幸子 形容詞メタファー表現における限定用法の選好：コーパスの用例に基づく「明るい」の一考察

■研究発表会場（東京大学本郷キャンパス）へのアクセス

本郷キャンパスへは公共交通機関をご利用下さい。

羽田空港から	空港第1ビル（モノレール）→浜松町駅→JR 山手線→東京駅
	羽田空港国内線ターミナル（京急線）→品川駅→JR 山手線→東京駅
東京駅から	地下鉄東京メトロ丸ノ内線（池袋行き）→本郷三丁目駅下車
新宿駅から	JR 中央線快速（東京行き）→御茶ノ水駅→地下鉄東京メトロ丸ノ内線（池袋行き）→本郷三丁目駅下車
（新宿西口駅から）	都営地下鉄大江戸線（飯田橋・両国方面）→本郷三丁目駅下車

会場（法文1・2号館）へは赤門または正門からが便利です。

最寄り駅 → 門	所要時間
本郷三丁目駅（地下鉄東京メトロ丸ノ内線） → 赤門	徒歩 8 分
本郷三丁目駅（都営地下鉄大江戸線） → 赤門	徒歩 6 分
東大前駅（地下鉄東京メトロ南北線） → 正門 ※東大前駅徒歩1分の農正門から入ると道に迷いやすいのでご注意ください	徒歩 8 分
湯島駅（地下鉄東京メトロ千代田線） → 龍岡門	徒歩 8 分
根津駅（地下鉄東京メトロ千代田線） → 弥生門	徒歩 8 分

本郷三丁目駅から：本郷三丁目の信号交差点を渡り、本郷通りを北へ直進すると右側に赤門があります。

東大前駅から：1番出口から出たら左へ（本郷通りを南へ直進）。農正門を通り過ぎ、本郷弥生の信号交差点を渡りさらに直進すると左側に正門があります。

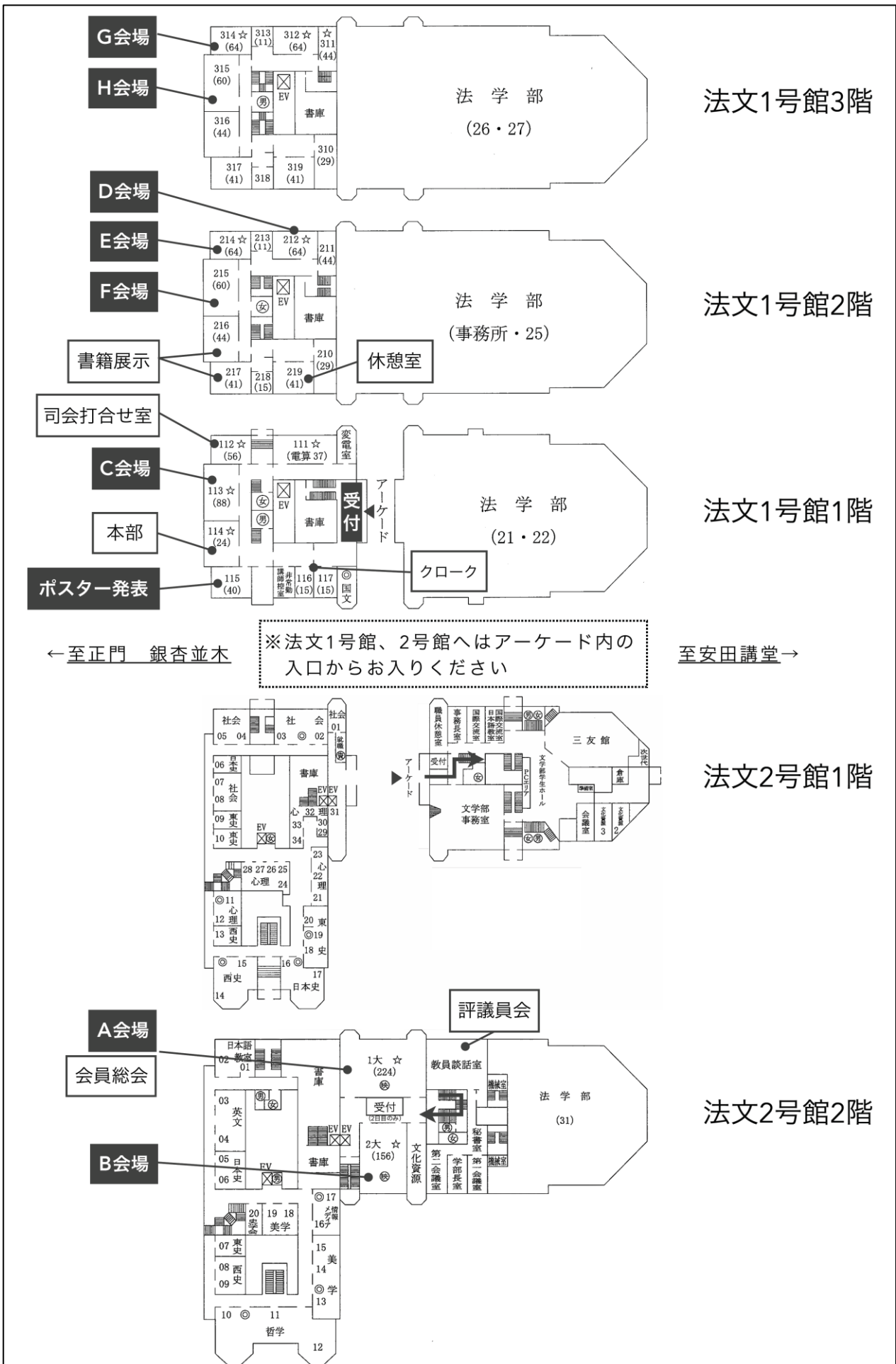
バス利用の場合

御茶ノ水駅から	都バス利用 茶 51 駒込駅南口又は東 43 荒川土手操車所前行→東大正門前下車
	学バス利用 学 07 東大構内行→東大構内バス停下車
御徒町駅から	都バス利用 都 02 大塚駅前又は上 69 小滝橋車庫前行→本郷三丁目駅下車
	都 02 大塚駅前又は上 69 小滝橋車庫前行→湯島四丁目下車
上野駅	学バス利用 学 01 東大構内行→東大構内バス停下車

構内のバリアフリーに関しては以下のマップをご覧ください。

本郷キャンパス バリアフリーマップ： <http://ds.adm.u-tokyo.ac.jp/material/pdf/20150804104011.pdf>

■会場配置図



お知らせ

◆大会会場でのインターネットの利用について

第156回大会会場では docomo 他の公衆無線サービス（サービスに加入している場合）と eduroam が利用できます。eduroam アカウントの取得方法は所属機関にご確認ください。eduroam の ID をお持ちでない方で、インターネットの利用が緊急に必要な方は受付にお申し出ください（ただし電波がつながりにくい場所もあり、利用者数にも制限がございます）。

◆大会参加費と予稿集

大会参加者は大会受付にて参加費（一般会員 2,000 円、学生会員 1,000 円、一般非会員 3,000 円、学生非会員 2,000 円）をお支払いの上、名札をお受け取りください。予稿集は大会の1週間前より学会ホームページから電子版予稿集(PDF ファイル)がダウンロードできるようになりますので、事前にダウンロードを済ませてください。紙媒体での予稿集頒布は行っておりませんのでご注意ください。

◆出張依頼状

所属機関長宛の出張依頼状をご入用の方は、返送先を明記して切手を貼った返信用封筒を同封の上、5月31日（木）（必着）までに学会事務支局までお申し込みください。

◆大会期間の昼食について

大学内の食堂（中央食堂）は、土曜日、日曜日は11時から14時までの営業です。本郷キャンパス周辺の飲食店、およびコンビニエンスストアもご利用ください。

◆懇親会の申し込み

懇親会へ参加ご希望の方は、大会当日に受付でお申し込みください。会費は、一般 5,000 円、学生 3,000 円を予定しています。

◆保育室の設置

保育室を設置します。保育室の利用を希望される方は、学会ホームページ「保育室の設置について」をお読みになった上で、2018年6月1日（金）までに保育室担当宛（lsj.childcare@gmail.com）にご連絡ください。

- ・利用可能時間：6月23日（土）12:45-18:00、6月24日（日）9:45-17:15
- ・料金：お子様1人あたり1時間につき500円

◆手話通訳などについて

手話通訳、ノート・テイクなどをご利用希望の方は、学会ホームページの大会案内をご覧ください。受付締切は5月25日（金）です。

◆書籍展示

書籍展示は、法文1号館2階216, 217で行います。

◆大会予稿集、『言語研究』のバックナンバー

前回大会に続き、今大会においても余剰分の『言語研究』バックナンバーを大会会場において無料頒布します（郵送等のサービスは行っていません）。なお、大会予稿集および『言語研究』のバックナンバーは引き続き郵送での注文も受け付けております。購入をご希望の方は、在庫状況を学会ホームページでご確認の上、学会事務支局までお申し込みください。

◆クロークの設置

クロークを設置します。法文1号館1階116, 117です（6月23日（土）12:00-18:00、6月24日（日）9:30-13:00）。伊藤謝恩ホールにもクロークがございます（24日（日）12:30-17:20）。

◆資料展示コーナー

会員相互の情報交換のための資料展示スペースを用意します。会員に紹介したい学会、研究会、講演会のパンフレット等を置くことができますのでご利用ください。（配布物は当日受付にご持参ください。）

次回大会予告（2018年秋季大会：第157回大会）

場 所：京都大学吉田キャンパス（〒606-8501 京都府左京区吉田本町）

日 程：2018年11月17日（土）・18日（日）

公開シンポジウム，口頭発表，ワークショップ，ポスター発表

研究発表募集：学会ホームページから発表申し込みができます。

・発表応募締め切り 2018年8月20日（月）（必着）

・採否通知 2018年9月中旬

* 宿泊施設の混雑が予想されます。宿泊を必要とされる方は早めの予約をお薦めします。

問い合わせ先

日本言語学会事務支局 〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入

Tel. (075) 415-3661, Fax. (075) 415-3662, E-mail: lsj@nacos.com